

備前 岡山 牛窓神社だより

第45号

令和6年7月30日
発行

〒701-4302
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2147

牛窓神社社務所
TEL 0869(34)5197



夏の風物詩「茅の輪くぐり」(8月31日まで)



暑中お見舞い 申し上げます

宮司 岡崎 義弘

牛窓神社を大切に思われる地元氏子・崇敬者を始め、切っても切れない奇しき御神縁に結ばれた、全国各地のゆかりある全ての皆様方、常日頃は、牛窓神社以下、町内外各神社の維持運営並びに祭典の厳修につきまして、物心両面の温かい御理解、御協力を賜り、心から深く御礼申し上げます。

今年も早くも、酷暑の季節となりましたが、世界の情勢は愈々混沌の度合いが深まり、民主主義陣営と専制主義陣営との対立は激化する一途であります。地球環境の悪化に、国際社会が一致結束して立ち向かう秋ですが、現実には厳しく、世界が平和を取り戻す道は甚だ険しいのが実情です。美しき奇跡の星である地球上で、人間同士の争いが全く納まる気配が見えない事が、極めて残念でなりません。皆さんとともに、世界の平和を祈りつつ、お互いに気持ちをしっかりと引き締めて、暑さ殊の外厳しい夏を元気に乗り越えて参りましょう。

八月一杯「茅の輪くぐり」の神事

疫病退散を祈る先人の知恵

さて皆さん、本日七月三十日に、牛窓神社の夏祭り「茅の輪くぐり」の神事が行われました。拝殿前に設置された直径二メートルの大きな茅の輪を三度くぐって、半年間の罪、穢れ、災いを洗い清め、家内安全や無病息災を祈願し、そのあとカヤを一本持ち帰り、丸い輪にして自宅の玄関等にささげ厄除けにします。

大きな茅の輪は、今年も氏子総代さん達が昨日二十九日、日の出前にカヤを刈り、心をこめて作って下さいました。八月三十一日まで設置してありますので、どうか皆様、御家族揃って、ひと夏を無事に過ごすことができますように、牛窓神社伝統の「茅の輪くぐり」の神事に御参加され、古来より伝わる先祖先輩の知恵「茅の輪くぐり」の神事に、また、氏子の皆様には、各戸にカヤ一本と穢れ旗一枚を配布しますので、丸い輪にして旗を刺し、玄関等にて向こう一年間大切に下さい。なお、昨年の古い茅の輪はお宮にお返し下さい。

雄々しく 力強く 元気一杯春祭り



綾浦男子の男気全開!! おみこし巡幸全力投球!!

令和六年五月十二日(日)、牛窓神社恒例の春季例大祭の神事が、午前八時四十五分から極めて厳粛に行われ、牛窓町内外の発展、世界の平和、疫病退散、五穀豊穰、氏子崇敬者各位の家内安全、身心健康、各種産業の繁栄、心願成就などを、さまざま祈りと神恩感謝の気持ちで、牛窓神社の神々に真心を尽くして熱祷させていただきました。

さて、今回のおみこし当番は綾浦地区でした。昨令和五年秋のおみこし巡幸の力強い大盛會を継承して、愛憎の雨模様の中、何と全行程を台車に乗せる事なく全て肩に担いで巡幸する快挙を成し遂げる事ができました。

毎年春先の此の時期はお天気不安定であり、雨の心配が一週間程前から脳裏を離れません。今年はお天気予報が的中して、大雨が降るとの観測も流れましたが、綾浦地区の男子の心意気を汲み取り、雨天決行を決定致しました。祈る思いの決断でした。綾浦区長の小林宏志氏、同氏子総代竹村正氏、炭田康行氏、おみこし担ぎリーダー根木毅氏、助っ人男子リーダー成本崇氏を中心に早くから諸準備に取り組んでいただき、綾浦コミュニティハウスで何回も検討委員会が開かれ、無事にきめ細やかな実施要項及び役割割り分担当表が練り上がりました。そして大方の予想を遥かに上回るたくさんの担ぎ手を、精一杯の努力と友人知人への情熱溢れるきめ細やかなお声掛けで集めていただき、これに常連の助っ人男子六名を加えて万全の陣容で祭り当日を迎えました。

かくして当初は所要所は台車に乗せる予定でもありましたが、これを覆して雨模様のお天気を吹き飛ばして全行程をすべからず肩に担いで巡幸と相成りました。町内の各御旅所を「ちょーさじや」「ちょーさじや」と元気な掛け声と共に巡幸、「こー」では何回も繰り返して「そりや、しゃしゃげー」「そりや、まーせー」がたくましく、ほほえましく、神々しく披露され、大きく春祭りを盛り上げて大輪の花を咲かせてくれました。

こうして、朝から心配された雨も小雨のまま推移する中、綾浦男子の面々は、各御旅所での傘を差して、これまでの盛大かつ熱烈な出迎えの人達の心のこもった声援と惜しめない拍手と、これまた心のこもった有難い御接待をエネルギーに換えて、夕闇が迫る中、師楽地区を経て無事に安堵のお山入りとなりました。

小雨が降る中にもかかわらず、多くの人達が真剣におみこし様に手を合わすという謙虚な祈りの姿は、これが港町牛窓の本来あるべき姿・形である地域社会が氏神様と共に有ると重ねて強く思い起こさせていただきました。

おみこし担ぎの大役を天晴れに果たして下さった綾浦地区の皆様、更に助っ人男子の皆様、また一連の春祭り全般に携わって下さった各町内会全ての皆様、本当にありがとうございました。今回も例年に増して内外に港町牛窓の培われた「祭り魂」を示すことができました。宮司として深く感謝御礼申し上げます。

なお、本年令和六年十月二十七日(日)の秋祭りのおみこし当番は、紺浦地区となります。どうぞ宜しく心の御準備の程お願い申し上げます。